

まほらいな市民大学の様子

令和3年12月21日（火）

『藤村の「夜明け前」と大河ドラマ「青天を衝け」』

講師 近代文学研究家 堀井正子氏



堀井正子さんから、幕末から明治にかけての激動の時代、小説「夜明け前」の主人公「青山半蔵」と大河ドラマ「青天を衝け」に登場する「渋沢栄一」の生き方を対比しながらの講演がありました。「夜明け前」では藤村の父・正樹が半蔵のモデルとなっている。馬籠の本陣問屋庄屋の半蔵は、学問好きで国学に心酔。しかし京都にも行きたいがあきらめて馬籠の庄屋として生きていく。青山家は家紋から、先祖が三浦半島から来ていることがわかる。半蔵の継母おまんは、坂本天山を祖父に持つ。一方、栄一は渋沢家のたった一人の男子であったが、親に行かせてくださいと頼み、思いに衝き動かされて出て行く。徳川慶喜のもとで武士になり、慶喜の弟・昭武に随行してヨーロッパに行く。半蔵と栄一ふたりの生き方の違いを写真・資料等を使って話がありました。「夜明け前」の中に天狗党が伊那路を通った話があり、伊那谷の地図でその様子の話がありました。栄一は、慶喜が語った幕末明治の歴史を「徳川慶喜公伝」にまとめたが、藤村は父に語ってもらえなかった思いを小説「夜明け前」に著したという。堀井正子さんのお話に引き込まれ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

学生からは、「堀井先生にお会いできるのを楽しみにしていました。オシャレで素敵な声で、お話から景色が見えてきそうでした。」「“夜明け前”と“青天を衝け”が歴史的につながりがあるとは驚きでした。」「同時代を生きた半蔵と栄一。育つ環境により全く違った生き方になることによくわかる話でした。」「とても楽しめました。半蔵の性格をととても細かく分析されていてよく知ることができました。“夜明け前”を読みたいです。」といった感想がありました。